

特別展

伝説のファッションデザイナー

鳥丸軍雪展

2019年4月13日(土) - 6月23日(日)

特別展

伝説のファッションデザイナー 鳥丸軍雪展

とりまるぐんゆき

鳥丸軍雪は、英国オートクチュール界に大きなインパクトを与えてきた伝説的なトップデザイナーです。その作品は布を垂らせて流れるような優雅なひだを生む手法（ドレープ）や、独創的な布のカットから生み出され、鳥丸は「ドレープの魔術師」「絹の彫刻家」と呼ばれてきました。英国王室のダイアナ元皇太子妃やスウェーデン王国のシルビア王妃、日本では人気タレント黒柳徹子ら多くの著名人の衣装を手掛けたことでも知られています。

1937年、宮崎県生まれ。59年に神戸から世界へと羽ばたき、ロンドンカレッジ・オブ・ファッションで学んだ後、パリで世界的デザイナー、ピエール・カルダンのアシスタントデザイナーを務めました。

シンプルかつ洗練された独自のスタイルで作品を発表して、国際的な評価を獲得します。

本展では、プリーツやドレープを駆使した代表作を中心に、デザイン画など約80点を一堂に紹介。

神戸から渡英して60年。鳥丸の歩みを展望する貴重な機会となります。

GNYUKI TORIMARU

GNYUKI TORIMARU HISTORY

鳥丸軍雪



1937年 宮崎県小林市に生まれる

1959年（22歳） 渡英

1964年（27歳） ロンドン・カレッジ・オブ・ファッション入学

1969年（32歳） 渡仏。ピエール・カルダンのアシスタントデザイナーになる

1972年（35歳） ロンドンの百貨店ハーベイ&ニコルズにて第1回目のコレクション発表

1976年（39歳） ヤードレートップデザイナー賞受賞

1977年（40歳） ファッションデザイナーとして初めてビクトリア&アルバート博物館（ロンドン）において講演をし、同館にコレクションの一部が買い上げられる

英国初の女性首相マーガレット・サッチャーのドレスデザイナーとして日本で初めて鳥丸軍雪の名前が紹介される

1986年（49歳） ダイアナ妃の来日時、昭和天皇による宮中晩さん会のためのイブニングドレスを製作。長年に渡り、日本に各アイテムのライセンスを提供し全国展開する

1992年（49歳） ビクトリア&アルバート博物館（ロンドン）にてファッション界デビュー20周年記念展覧会を開催。20年間のコレクションが掲載された写真集を出版

1998年（61歳） 作品コレクション集「YUKI」を出版

2007年（70歳） スウェーデン王国シルビア王妃の来日時、天皇陛下によるレセプションのためのイブニングドレスを製作

2016年（79歳） スウェーデン王国ノーベル賞受賞式典のためのシルビア王妃のドレスを製作

※2006年、2007年、2009年も製作。



「プリーツ ミニドレス」(2018年、オリジナルは1988年)



「ドレープ イブニングドレス」(1976年)



「黒柳徹子氏のためのドレス 舞台衣装 イブニングドレス」(2015年、個人蔵)



「ダイアナ妃のためのデザイン画」
(複製画、1986年)



「ダイアナ妃のためのドレス イブニングドレス」
(鳥丸本人によるレプリカ 1996年、オリジナルは86年)

関連イベント

4/13
(土)

鳥丸軍雪トークイベント

世界で活躍するファッションデザイナー鳥丸軍雪がこれまでの歩み、デザインに込めた思いなどを語ります。

- ◆日時 4月13日(土曜) 13:00～14:30
- ◆会場 4F 第1セミナー室
- ◆定員 90人(要申し込み、先着順)
- ◆参加費 無料(入館券が必要)

〈申し込み方法〉

(1)(2) いずれも、①名前 ②年齢 ③住所 ④連絡先を明記の上、メール(workshop@fashionmuseum.or.jp)か、下記問い合わせ先へ電話でお申し込みください。



2019年
4月13日(土)ー6月23日(日)

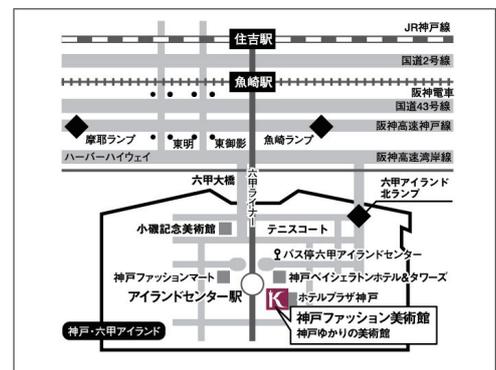
- 開館時間/ 10:00～18:00(入館は17:30まで)
- 休館日/月曜日(ただし4/29・5/6日は開館)、5/7
- 入館料/一般1,000(800)円、大学生・65歳以上500(400)円、高校生以下無料
- ※カコ内は30名以上の団体料金です。
- ※「神戸ゆかりの美術館」の当日入館券(半券)をお持ちの方は割引を受けられます。
- ※上記料金で特別展と常設展(コレクション展)の両方をご覧頂けます。
- 主催:神戸ファッション美術館、神戸新聞社、毎日新聞社
- 後援:サンテレビジョン、ラジオ関西
- 企画協力:みやざきアートセンター
- 展示協力:大阪樟蔭女子大学

お問い合わせ(広報担当)

TEL: 078-858-0050
FAX: 078-858-0058
Eメール: press@fashionmuseum.or.jp

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2-9-1

<http://www.fashionmuseum.or.jp>

 神戸ファッション美術館 検索


[電車ご利用の場合]

JR「住吉駅」・阪神「魚崎駅」のりかえ六甲ライナー「アイランドセンター駅」下車南東すぐ

[お車ご利用の場合]

阪神高速神戸線「摩耶」・「魚崎」ランプから約10分
阪神高速湾岸線「六甲アイランド北」ランプから約2分
三宮からハーバーハイウェイ経由約15分

※駐車場は、美術館地下のタイムズ神戸ファッションプラザ
駐車場をご利用ください。駐車場利用料金:60分300円
※1日最大500円(平成29年12月現在)

同時開催 ※ 特別展をご覧の方は無料です。

■ 常設展 (コレクション展)

特集テーマ「5つの時代衣装」展 —華麗なるロココから優美なベル・エポックまで—

18-19世紀の西洋服飾スタイルは「ロココ」「エンパイア」「クリノリン」「バスル」「アール・ヌーヴォー」と変遷し、それらはその時代に描かれた絵画の女性の姿に反映されています。

本展では、ジョルジュ・スーラの「グランド・ジャット島の日曜日の午後」(1884-87年)など5つの絵画を、当館収蔵の当時の実物の衣装で再現を試みました。さらに当時の着こなし、化粧、しぐさなどを、現地で撮影した絵画と同名の短編映画で紹介。みなさまを心踊る西洋ファッションの時代旅行へとお誘いします。



1855年「ウージェニー皇妃と女官たち」
フランツ・クサヴァー・ヴィンターハルター



1886年「グランド・ジャット島の日曜日の午後」
ジョルジュ・ピエール・スーラ



お問い合わせ (広報担当)

TEL : 078-858-0050

FAX : 078-858-0058

Eメール : press@fashionmuseum.or.jp